

## 実践統計学（日本語）

研究科共通科目	1 単位
<b>講義概要</b> (目標) 本講義は統計データ分析の新しい手法とその応用を主題し、受講者に統計データ解析の理論、方法および応用法の基本を身につけてもらうと同時に、それぞれが研究で抱えている統計処理問題解決を目指します。 (内容) 1. 講義および演習を含む内容で、1、2日間の集中講義形式で実施します。 2. 他の授業科目と同様に、研究指導と異なり、一つの知識体系で成り立っており、いままさに役立たなくても、何らかのデータを扱う人にとってはいつか役に立つことを視野に入れた内容です。また、行列や微積分の基本までの基礎数学および統計学の初級レベルの知識を前提に授業を行います。 3. あらかじめ提出された履修者からのレポート（自らが研究上で実践している統計処理の内容といくつかの疑問点についてまとめた事前レポート）に対する解説を中心とした講義を行います。 4. 講義と演習の成果を事後レポートとして提出します。	
<b>評価の方法</b> 事前、事後レポートの内容及び講義への出席状況によって総合的に評価します。	
<b>講義履修上の注意事項</b> 1人の講師が短期間で多様な統計分野を網羅した統計学の講義を行うことは困難なため、岩手連大は各構成大学に1名以上の <b>統計学相談員</b> を配置しています。 本講義では、あらかじめレポートを作成して事前に統計学相談員と相談することを含めて講義全体を編成する予定です。 *とくに研究機関に所属する社会人学生は、できる限り履修してください。	

### 実践統計学の流れ

